



『ありがとうの花』

校長 杉村 英樹

1学期が始まった4月8日の始業式の際、子どもたちに、二刀流で活躍するメジャーリーガー大谷選手の話をし、「できっこないをやらなくちゃ」という曲を聴いてもらいました。そして、「負けず くじけず あきらめず やらなくちゃ」を合い言葉にして、「なかよく かしこく たくましく」成長してほしいと話しました。1学期を振り返ってみると、日々の授業や学校生活等において、進んでチャレンジしたり、粘り強く続けたり、最後までやり遂げたりする子どもたちの姿が数多く見られ、北久米っ子一人一人が確実に成長できていると実感しています。

5月29日の朝会では、「ありがとうの花」という曲を紹介し、ありがとうの花をたくさん咲かせるためのポイントとして、「相手や周りの人から『ありがとう』と言ってもらえることを言ったりしたりする。」「当たり前と思わず、『ありがたい』ことだと気付く。」「『ありがたい』と気付いた、思ったときには、きちんと『ありがとう』と伝える。」の三つを伝えました。その後の様子はというと、「何かを手伝ってもらったり、勉強を教えてもらったりした子どもが、自然な感じで相手に『ありがとう』と言っている。」「帰りの会で、友達のよいところやよいことをしていた場面を発表している。」「教師も、子どもたちの自主的な行動を褒めたり、相手を思いやる言動に対して『ありがとう』と伝えている。」など、様々な「ありがとうの花」が咲いているようです。今後も、学級やみつばち班、通学班、委員会等の活動を含む学校生活、そして、家庭や地域において、当たり前ではない有難さに気づき、多くの支えに感謝し、互いに「ありがとう」を伝え合い、『ありがとうの花』がより咲き広がるとよいと思います。

今後も『ありがとうの花』と『笑顔の花』をたくさん咲かせることができるよう、息を合わせた「つながる教育活動」の推進に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

「令和7年度の研究について」

研修主任 玉川 正剛

北久米小学校では、「自ら考え、学びを共有し深める児童の育成～問いづくりとリフレクションの充実を通して～」を研究のテーマとし、子ども一人一人が主体的に学習に取り組むとともに、子ども同士の学び合いによって学習を深めることができる授業を目指しています。今年度は、国語科の「読む」単元を中心にして、「問い」と「リフレクション」の二つの視点から研究を進めています。「問いから始まる授業」とは、教師の発問ではなく、子ども自身の中から湧き上がってきた疑問を基に展開する授業のことです。そのために、教材との出合わせ方や単元のゴールの提示など、様々な工夫を行うようにしていきます。「リフレクション」とは、自分の行動や考え方を振り返り、見つめ直すことです。授業で分かったことや自分の考えの変遷、学び方などを言語化し、意味付けする時間を設定することで、より学びが深まっていくことをねらいとしています。「問い」や「リフレクション」をより効果的にするために、「みつばちタイム（小集団での話し合い活動）」の時間を十分に確保するように努めます。学びの主役は、子どもたちです。教師が一斉に教える授業から、子ども自らが学び合う授業への転換を目指していきます。今年度から文部科学省型コミュニティ・スクールに移行し、保護者の方や地域の皆様とより一体となって、健康で明るく、共に生きる北久米っ子を育てていきたいと思っています。

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。すでに、市内でも夜市が開催され、賑わいを見せています。また、地域や神社での夏祭りも予定されています。①～③の内容をチェックしていただき、お子様がトラブルに巻き込まれぬよう、起こさぬよう、確認と見守りをお願いします。

① 金銭や物品について

- ☐ 買い与えた覚えのないゲームやカード、おもちゃがありませんか？
- ☐ アプリ内、またはゲーム内課金ができる場合、その状況を知っていますか？
- ☐ 子どもが、今、自由に使えるお金をいくらもっているかを知っていますか？
- ☐ 大人が、財布やキャッシュカードなどを簡単に子どもの手の届くところに置いていませんか？

② SNSや動画視聴、ゲームの利用について

- ☐ スマホやタブレット、ゲームなどの利用について、ご家庭でルールを決めていますか？
- ☐ SNS (LINEなどのメッセージ機能)の使用状況及び会話内容を知っていますか？
- ☐ 動画サイト(YouTube等)でどのような内容を視聴しているかを知っていますか？
- ☐ ゲームをどのくらい利用しているかを知っていますか？

③ 生活全般について。

- ☐ 子どもの起床、就寝時刻を知っていますか？
- ☐ 外出先で、誰と何をしているかを知っていますか？

もちろん、子どもたちのプライバシーも尊重しないとはいけません。しかし、金銭やSNSに関することは大きなトラブルに発展する場合も多いのが実情です。SNS等、ネット利用については、先日配付した「ネット利用について」をご参照ください。「うちの子に限って…」や「そんなことをしているなんて…」とならないよう、確認と見守りをお願いします。

北久米っ子の服装や持ち物等についての約束

服装や持ち物についての認識を再確認したいと思います。北久米小学校は標準服を定めていませんが、何でも自由ということではありません。身に着けてきたり、持ってきたりする物が、学習や学校生活の妨げとなる場合もあります。学校では1学期に次の内容について指導しています。ご家庭におかれましても、今一度、ご確認ください。

○ 服装について(夏季)

- ・ 学習や活動にふさわしい服装を考えましょう。
- ・ 校内で一番上の服の左胸に名札を付けます。校内では防犯笛は服の中に入れます。
- ・ 頭髮については、パーマ、染色、脱色等はしません。
- ・ 暑い時季に、タンクトップ、キャミソール等、肩口や腹部など、肌を大きく露出している服を着ないようにしましょう。(不審者からの被害を避けるため。)
- ・ 体育の時間は体操服を着ます。洗い替えが無い場合は、無地のTシャツ・短パンを着ます。(ワンポイント等は構いません。華美でないものにしてください。)

※ なお服装などについて、健康上の理由等で配慮の必要な場合はご相談ください。

○ 持ち物について

- ・ 学校生活の目的にふさわしい筆箱、文房具、靴等を使用します。
- ・ キーホルダーやストラップ等の飾りは、ランドセル、筆箱、名札等に付けません。
(お守りは付けても構いません。)

